

波高通信



<第134号 令和7年11月>

スローガン「チーム波佐見」～希望への挑戦～

商業科でHTB授業実施 「波佐見に巨大テーマパークを創ろう」

「波佐見町テーマパーク経営シミュレーション」と題して、各班で企画書を作成し収益をシミュレーションしました。

その結果を投資家役のHTB（ハウステンボス）の方に売り込むという授業を3日間で行いました。

来年度はこの新しい学びを1年間を通して行います。波佐見高校商業科は、新たな学びにチャレンジします！



畑ノ原登窯での窯焚き体験 10/26

国指定史跡である畑ノ原登窯で陶磁器を焼くという波佐見町の催しがありました。

10月5日窯入れし、10月26日窯焚き、11月8日窯出し、という日程です。

本校の陶芸部が参加し、1300℃の高温を保つために薪を入れる作業等を行いました。



音訳ボランティア交流会 10/17

放送部は、波佐見町の広報紙を読み上げ、CD化するという音訳ボランティアの活動を行っています。音声を利用してくださるリスナーの方と交流会を行いました。

レクレーションでは会場に笑いが起こり、大変盛り上がりしました。

日常生活における音や声の伝え方について、大変大切なことを伝えていただき、貴重な交流会となりました。



認知症サポーター養成講座 10/1

波佐見町地域包括支援センターの皆様を講師として、認知症について正しい理解を深めました。

道に迷った方へどのように声掛けをすればよいか1学年の生徒全員が実際に声掛けを体験し、互いに支えあうということの大切さを理解できました。



農業体験 9/29

3年生商業科を対象に農業体験を行いました。

村木郷の峠自然塾浅田良卯様にお世話になり、高菜の苗植えなどを行い、地域の強みや課題等について学びました。



R8全国大会出品決定！

県総文祭において、28名の生徒が入賞・入選を果たしました！
工芸部門で優秀賞に選ばれた引場さんの作品が来年度の全国大会に選抜され、出品されることになりました。全国大会は3年ぶりとなります。

優秀賞 6名、優良賞 5名、入選17名

優秀賞

令和8年度全国大会
(秋田大会) 選抜作品



「息吹」
美術・工芸科1年
引場 かりん（早岐中出身）

◎コメント◎
この作品は命の力強さをイメージして制作しました。形の流れや三色の色使いで作品に動きを出すことを意識しました。全国大会に選ばれることができて、とてもうれしいです。



「光となれ」
美術・工芸科2年
瀬浦 優妃（早岐中出身）

◎コメント◎
「力強さ」をテーマにして描いた作品です。手足で地を力強く踏みしめている様子を描けるよう、手足が主役となった絵となっています。

優秀賞



「歪像」
美術・工芸科1年
松永 妃那子（大野中出身）

◎コメント◎
水とガラスと人物が合わさり、ガラスの中に歪んだ人物が現れるおもしろさを表現しました。ガラスの人工的につくられた形や質感、人物特有の質感の描き分けにこだわって制作しました。



「導き」
美術・工芸科2年
吉村 萌南（早岐中出身）

◎コメント◎
この作品は、「導く人」をテーマに制作しました。手前の机やイスは、導かれる側の「険しい壁」を表現するべく乱雑に配置しました。手を大きく前に出すことで本当につかめそうと思えるように描き込みを多くしました。

次号も掲載します。

11月の主な行事

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1日（土）文化祭 | 11日（火）県北地区合同企業説明会（2年） |
| 4日（火）体験型企業説明会（1，2年） | 12日（水）避難訓練 |
| 5日（水）陶芸教育（1年） | 17日（月）期末考査時間割発表 |
| 7日（金）美工科探究発表会 | 18日（火）公開授業・学びの会・講演会 |
| 10日（月）生徒会役員任命式・表彰式 | 23日（日）全商ビジネス文書検定 |
| | 25日（火）期末考査（～28日） |